

---

一般社団法人 日本家政学会 中部支部

平成 26 年度 若手の会主催 公開講演会

プログラム

---

平成 27 年 2 月 21 日 (土) 9:30~12:10

「震災を忘れないー災害への備え、家政学としての震災への取り組みー」

東海道・南海道の地域は、過去 100 年~200 年周期で、繰り返しマグニチュード 8 クラスの巨大地震が襲来し、今後 30 年以内にも高い確率で南海トラフ地震が発生すると言われてい  
ます。東海地震と東南海・南海地震発生の切迫性が叫ばれている今日、防災意識啓発と、実践  
的な防災対策が焦眉の急であると思われま

す。2011 年 3 月、東日本大震災が発生した後、日本家政学会でもプロジェクトを立ち上げ、支援  
活動などに取り組んできました。巨大災害に備え「悲観的に準備をして、楽観的に行動する」た  
めにも、災害を忘れずに、備えや支援の在り方について、より一層知見を広めたいと考え、講  
演会を企画いたしました。生活の視点から、そして教育・学問の視点から、明日への備えを考  
えるきっかけになると幸いです。

9:30~9:40 開会挨拶 (一社)日本家政学会 中部支部長 東 珠実

9:40~10:50 講演 1

「災害への備えを考えるーNPO法人RSYの活動と生活に寄り添った支援ー」

NPO 法人レスキューストックヤード(RSY) 浜田ゆう氏

(都合により、演者が変更になりました)

11:00~12:00 講演 2

「家政学が果たす役割を考えるー東日本大震災への取り組みを事例としてー」

中部大学応用生物学部 教授 小川宣子氏

((一社)日本家政学会 東日本大震災生活支援プロジェクト)

(学術会議第 23 期会員 健康・生活科学委員会副委員長

家政学分科会委員長)

12:00~12:10 閉会挨拶 (一社)日本家政学会 中部支部若手の会代表 日比野久美子

